



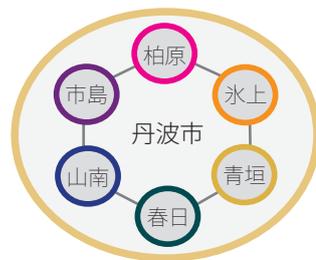
丹波市の理念スローガンが決定しました

「六つの里」の個性と魅力がひびきあう 新生・丹波市スタイル

それが『丹 (まごころ) の里』

「あるもの磨き」のまちづくり

暮らしの「かたち、人情、風景」。丹波市には、特有の気候風土に根ざし暮らした「知恵と工夫」が満ちています。災害が少なく、安心して暮らせ、適度に便利、都会でもなく極端な田舎でもない明るいふるさとー丹波市。「六つの里」のそれぞれの個性を認め合い大切にしながら、さらに個性豊かな「新しい都」を形成し、次世代へと受け継いでいきます。



「丹 (まごころ) の里」PR用ポスター

「丹 (まごころ) の里」に想いをこめて

「丹」には「赤色」のほかに「丹精をこめて」や「丹念に」などの言葉にあるように「まごころ」の意があります。「丹 (まごころ) の里」には、丹波市への愛着と誇りを育て、「六つの里」でひとつの丹波市になって、住民同士の連帯感を高め、市の振興・活性化を行っていこう」という熱い思いが込められています。

丹波市を選んでもらうために

「丹波市C1戦略」の基礎として、このスローガンを発信・定着させ、市の一体感と連帯感を醸し出していくため、市では、ポスターやロゴの制作、丹波市検定、独自性特産品の製作などを行います。また、地域ブランドや特産品ブランドの開発、ひとブランドの育成を図ります。

市外の方に、丹波市を知ってもらい、来てもらい、ファンになってもらい、住んでもらいたい。たくさんの市町の中から「丹波地域の丹波市」を選んでもらえるよう、「丹 (まごころ) の里」によるイメージ戦略をすすめます。

※「丹波市C1戦略」とは、“シティ・アイデンティティ”の略で、市としての独自性、個性、理念を表現し、内外的にイメージをアピールするための行動計画です。



「丹 (まごころ) の里」PR用ポスター